

ともに



平成 30 年 2 月 23 日発行 《文責》 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

お子さんのスマホ等の使用は大丈夫ですか？

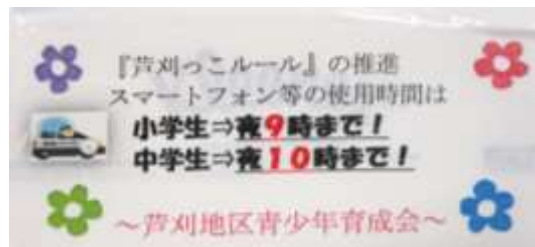
最近では、スマートフォンや携帯、タブレット等を使用したインターネット上の危険性が高まっています。閉ざされた空間の SNS (LINE) 等の事案は、早期発見が難しく、気づいた時には、とりかえしのつかない大きな問題になっていることもあり、我々大人が知らないところでのトラブルや事件が全国的に発生しています。スマホ等の問題発生による本当の怖さは、当事者になってみないと実感できないこともあり、児童生徒だけでなく、保護者の理解がなかなか進んでいない状況があるかもしれません。また、過度に依存しすぎる状況に陥る等、子どもの使用には多くの問題点も指摘されているところです。



そうした状況から、子どもを守っていくためには、保護者、地域、学校が「共通のルール」を定めて通信機器の正しく安全な使い方を指導し、我々大人が共に見守っていくことが極めて大切と考え、以下のルールを定めています。12月9日付けの文書(スマートフォン・携帯・タブレット等の通信機器の「使用時間の適正化」について：芦刈地区青少年育成会長、芦刈小中学校PTA会長、芦刈観瀾校長の連名)にて、各保護者をお願いをしているところです。

さて、御家庭でのルールの定着度はいかがでしょうか。保護者がお子さんのスマホ等の利用について「どこでどれだけ使っているかよくわからない。どんなことをしているのかよくわからない。」としたら、これはとても危険な状況にあることを認識しなくてはなりません。そこで、**今一度、お子さんのスマホ等の使用状況を把握**

していただき、親子で話し合いをするなどして、お子さんを守るため、責任ある保護者としての働きかけをお願いいたします。そして、これを1回だけでなく、正しい判断ができ



るまで定期的に続けていくことが大切です。観瀾校では「情報モラル教室の学習内容(親子で注意するポイント)」を以下の通り各家庭に配布し、ホームページでも公開していますので、改めて繰り返し御確認いただき、これからも積極的に御活用ください。

【H28】

- ★ 事故にあわない、起こさないために、自転車乗車中の携帯電話の禁止(佐賀県条例違反)罰金5万円。
 - ★ 安易に公の場で言う(ネットに書き込む)と法令違反(犯罪者)になってしまう事案がとても多い。
「大人も子どもも知らなかったではすまされない」正しい知識をもち、自分を守ることがとても重要。
《名誉棄損罪》 「〇〇は、万引き犯だ。」「〇〇は、いじめの中心人物だ。」
「〇〇と〇〇はつきあっている」等
《侮辱罪》 「〇〇は、気持ち悪い。うざい。きもい。」「〇〇は、嫌なやつ。」等
 - ★ 匿名での書き込みや投稿であっても、誰が出したものなのかすぐにわかってしまう。ふざけた写真や人を傷つける書き込み等を絶対にネットに載せてはいけません。知らない間に、あつという間に、世界中にとて速く、広く伝わってしまふ。そうならないために公開範囲の制限で設定しておくことは重要。
 - ★ スマートフォンで撮った写真には、位置情報が隠れている。写真をアップして、悪い人に住所等の個人情報を知られないためには、位置情報をOFFにしておく。
 - ★ 「あなたの書き込みは世界中から見られている」「いったん公開した情報は永遠に消えない」「その書き込みをインターネットは永遠に忘れない」自分が安易に載せた情報に、一生苦しめられる危険性もある。訴えられたら、子どもだから大丈夫、許されるものでは決してない。「一時的なノリや楽しさでアップしました。」ではすまない。
 - ★ 様々な情報に踊らされない。うのみにしない。簡単に受け入れない、信用しない。情報には、うそや偽りもある。本当のことかどうかを判断できる力、正しく判断しようとする日頃からの意識、心構えが必要。
 - ★ 相手の顔が見えないことの恐ろしさを認識する。ネット上の写真や文章だけでは、相手の本当の姿はわからない。「なりすまし」でだまされるケースも多発している。「世にはびこる魔の手はあなたのすぐ近くにある」安易に会員登録、メールアドレス登録をしない。悪質なワンクリック請求は無視する。たとえ相手から「会いましょう。」と誘われても、絶対に会いに行ってははいけません。犯罪に巻き込まれず、被害に合わないためには、見えない相手の求めや請求に応じず、親、学校(警察)に必ず相談をする。
- ### 【H29】
- ★ スマホや携帯、インターネットは、便利なツールだが、使い方によっては、とても危険なツールであることを十分に知って使う必要がある。
 - ★ 社会的な著作物には、「著作権」があり、著作権法違反は2年以下の懲役又は200万円以下の罰金となる。
 - ★ 歩きながら自転車、バイク、自動車に乗りながらスマホを扱うのは、事故に遭う可能性がとて高く、大変危険である。視界が通常の20分の1に狭くなり、周りが見えなくなる。
 - ★ インターネットの書き込みは、ノートの端っこに自分だけでこっそり書くのとは全く意味が違う。インターネットの書き込みは、世界中の人々に発信していること、見られていることと同じことで、内容によっては大問題になる危険性があることを絶対に忘れてはいけません。
 - ★ 最近は、端末を乗っ取られての「なりすまし」で、自分は身に覚えがなくても悪用されて大問題になってしまうケースが多発している。(メールや写真等のいろいろな個人情報や保存データが抜き取られる・位置情報が漏れる・勝手にメールされる・盗聴、盗撮される等、本人が知らない間に行われる) 最近は、子ども間でのなりすましも問題となっている。これらは、自分の不注意が生んだもので、自分のIDやパスワードを絶対に他に(たとえ親友であっても・・・)漏らしてはいけません。親友だったとしても、後で悪用されるケースがある。また、不正なアプリを安易にインストールしない。不自然な要求はキャンセルする。モラルも大事だが、日頃からのセキュリティはとて大事。
 - ★ 長時間夢中になりすぎて心身に悪影響を及ぼす「ネット依存」の問題は大きい。(食事中も携帯等を離さない、風呂にも持って行く、勉強や寝る時間を削いでまで使すぎる等) 学力低下の要因にもなっている。やりすぎず、時間を決めて使うことがとて大切。ネット依存は、アルコール、タバコ、ギャンブル等への依存(中毒)と本質は同じである。